



静岡市観光の魅力再発見！

静岡の静岡人民による静岡市のための高校生's

©リンカーン

杉尾元太 広野統也 木谷優宏

この事業の背景

このプロジェクトは、元々静岡市が政令指定都市で最も人口が少なく、人口減少が年々止まらないという問題を解決するために、静岡市に人を呼び込む事業の一環として考えました。

しかし、調べていくにつれて、そこに住んでいる市民が静岡市の観光地をあまり知らないという問題が浮かび上がってきました。

静岡市は、三保の松原など観光名所がたくさんありますが、私たちが知らないという実態がまだまだあるので、まずは、静岡市民へ向けて、観光地をもっと知ってもらう取り組みを始めようと考えました。

この事業の目的

他県や海外から静岡市へ訪れる人に対して、静岡市の魅力について知ってもらうのはもちろんのこと、今現在、静岡市に住んでいる人にも知られていない観光スポットや、その楽しみ方を知ってもらうことが、このプロジェクトの目的です。

将来的には、静岡市が世界から注目される都市になることが最終目標ですが、最初は、静岡市に住んでいる人に静岡市の魅力を伝えたいです。

事業内容について

私たちは、自分たちで観光名所を巡るツアーみたいなもの（プラン）を考え、それを企業に提供し、それに対してどのようなイベントをすると良いかというもの（情報）を提供し、共催する事業を行います。

その中でも、私たちは静岡市の公共交通機関に注目し、それを利用したツアーを考え、企業に提供していこうと思います。



※電車、バス、コミュニティバスなど。



具体的に、どのようなことをするのか？

◎自分たちが、観光名所を巡る経路を計画し、その内容などを企業に提供する。（観光バスで巡るというのではなく、公共交通機関を最大限に利用する。）



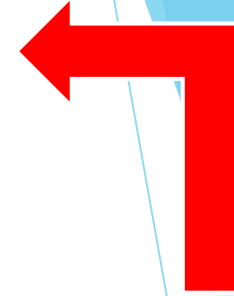
◎その経路について、連携してくれる企業と共にどのようなイベントをやれば人がやってくるようなことを一緒に考えていく。（計画）



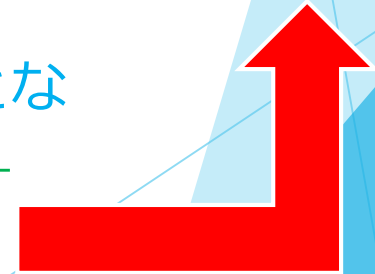
◎企業と連携して、観光のイベントを行っていく。（実行）



◎イベントを通して、次回ではこうすると集客が上がるということなどを話し合い、次回のイベントにむけてフィードバックしていく。（評価、反省）



フィードバックした内容を踏まえ、繰り返していく。



静岡市内の主な観光名所（一部）。

◎葵区

駿府城公園

浅間神社

静岡市立美術館

井川、梅ヶ島周辺（オクシズ）

など。

◎駿河区

久能山東照宮

日本平動物園

駿府匠宿

静岡県立美術館

登呂遺跡

静岡科学館る・く・る

静岡ホビースクエア

広野海岸公園

芹沢銈介美術館

など。

◎清水区

日本平夢テラス

三保の松原

エスパルスドリームプラザ

東海大学海洋科学博物館

河岸の市

フェルケール博物館

東海道広重美術館

薩埵峠

蒲原城跡

など。

つまり、
たくさんの観光名所が
静岡市にはあるのです。

プランはどのようなものを予定しているのか。

→主に以下の二つをもとに、プランを進めていきます。

◆ 1、観光地を巡るコース

電車、バスなどで、静岡市の観光地を巡る。

場所を知ってても行ったことがない人や、家族連れなどを主にしている。地元に関する体験を多くしてもらう。

(竹細工、いちご狩り、周辺散策etc....)

◆ 2、鉄道、バス沿線を巡るコース

鉄道沿線、バス路線図の沿線の観光地を巡る。

一人旅、乗り物好き、手軽に楽しむ場合におすすめ。

イベントを実施して、多くの人に来てもらいたいと考えている。

プランはどのようなものを予定しているのか。

2つの主な違い。

◎観光地編は、バス、電車、ロープウェイなどを使って、静岡市の様々な観光名所を巡っていきます。（最大で5個ぐらゐを巡らせる予定。）

様々な体験をして静岡市の良さをもっと知ってもらうのが目的です。

◎沿線編は、鉄道やバス沿線にある知られざる観光地を巡ってもらうもので、様々なイベントを用いて行っていきます。

静岡市の公共交通機関である

静岡鉄道編、JR東海道線編、バス路線編に分けてプランを考えていきたいと思っています。

具体的なプランについて。(1)

ダイヤ改正や、当日の遅延などによって変わりますが、あくまで予定通りに回れるとすると、おおよそですがこんなプランを立てることができます。

1、日本平を散策しよう！（静鉄バス、日本平ロープウェイ、JR使用）

スタート

静岡駅(8:30) → 日本平線(終点) → 久能山下(9:21)

このプランだと観光名所3つ（ロープウェイ入れると4つ）と公共交通機関2つを使って巡ることが可能になります。

久能山東照宮(9:30~10:10) → 日本平ロープウェイ(10:20) → 日本平山頂(昼&散策。11:00~13:00) → 日本平夢テラス入り口

鉄道+バス路線を活用することで、一日で5か所程度

巡ることが出来るのではないかと考えています。

徒歩 → 日本平動物園(14:00~16:00) → 日本平線 → 東静岡駅(16:50) → 東海道線 → 静岡駅(17:10)。

ゴール



具体的なプランについて。(2)

2、静岡鉄道沿線で面白い所+ウォーキング 巡り。(静鉄電車使用)



スタート

新静岡駅→県立美術館前駅→徒歩(15分)

→県立美術館→徒歩→県立美術館前駅→新清水駅→徒歩(16分)

→フェルケール博物館 & エスパルスドリームプラザ(昼)

→徒歩→新清水駅→柚木駅→(徒歩6分) MARK IS 静岡

→徒歩→柚木駅→新静岡駅→(徒歩10分)

駿府城公園→(徒歩11分) 青葉通り→(徒歩11分) →JR静岡駅。
ゴール

具体的なプランについて。(2)

2、静岡鉄道沿線で面白い所+ウォーキング 巡り。(静鉄電車使用)

◎一つ目のように時間を書かないのは、静岡鉄道が大体7～8分に一本電車を出す点や、時間を忘れて楽しんでほしいから、時間を書きませんでした。(それでも17:00～18:00位には終われるはずです。)

また、静鉄電車は各駅のLCDに最寄り駅に近い観光名所を載せているので、観光地を知らない人でも安心して旅行できます。

☆また、バスやJRの路線と組み
コースや竹細工体験など体験重
車するコースなども作ることが

こういうものです。→



り
下

プランについて。(3~6)

▶ また、複数の公共交通機関をミックスして新しいプランを建てることも出来ま
様々なコースと、様々な交通機関を組み合

例えば.....
わせれば、もっとたくさんのプランを
提供することが可能です!!!

1、葵区を自由に満喫コース (静鉄バス使用)

静岡駅→るくる→ホビースクエア→新静岡センバ→駿府城公園→浅間神社→城北公園→静岡駅。
プランだけでお金稼ぎなど出来るのかと考えがち

2、清水をめぐり満喫コース (静鉄バス使用)

清水駅→清水市立博物館→東海大海洋科学博物館→三保の松原 (平日~1泊2日)

3、日本平で泊まうて満喫コース (静鉄バス+JR使用)

一日目

静岡駅→るくる+ホビースクエア→日本平動物園→日本平夢テラス→日本平ロープウェイ→久能山東照宮→日本平ロープウェイ→日本平ホテル。

2日目
このような形で、僕たちは利益を増や
していききたいと考えています。

日本平ホテル→清水駅→エスパルスドリームプラザ&ラエルケール博物館→東海大海洋科学博物館→三保の松原→清水駅→用宗駅→広野海岸公園→用宗駅→静岡駅。



しかし、プランのみ提供しても客は来ない。（特に沿線を旅する場合。）

そこで・・・・・・。

沿線旅については、イベントを出すことで、集客力を向上させようと考えました。

そこで、イベントの一種として、

沿線スタンプラリーを提案します。

より多くの人に巡ってもらうために イベントの一つとしてスタンプラリーを実施する。

- ◆ 人が場所を巡るには何かしらイベントがないと動かないので、
巡る先々にスタンプを設置し、スタンプラリーを行う。
形態はクイズ形式で、スタンプを全部埋めると答えが出てくる。
沿線沿いを巡る旅の場合、スタンプは駅構内に設置する。
スタンプの問題は年ごと変える。(最初の方はお金の関係上難しい)

イベントのターゲット→子供のいる家族

- ▶ 理由 スタンブラリーに参加する主なきっかけは子供がやりたいという声が多い。
- ▶ スタンブラリーを通して親子の絆が深まったと感じた人が約8割いる。



ターゲットを市内に住む子供がいる家族にしようと考えている。

他にも、様々なイベントを計画、検討しています。

この事業を行った場合の影響

- ▶ 短期的に観光客が増える。そこで静岡市の良さをアピールすることで、リピートして参加してくれる方が増える。
→ リピートしてくれる方がもっと静岡市をアピールすることで、継続的な観光客の増加に繋がると考えています。
- ▶ 様々な公共交通機関を使ってもらうので、観光客から私たちが知らない隠れた名所を見つけてくれるかもしれません。
- ▶ 継続的なアピールをしていくことで、移住してくれる方々が増えていくと考えています。交通の便も良いし、様々な支援を静岡市も奨めているので子育てとかも住みやすい街です！！！！



静岡市の人口、観光客の増加

利益はどうなっているのか？

- ▶ プランの企業提供料やイベントにおける収益から数%取るということなどを利益として考えています。
- ▶ ただ、はっきり言えば支出する額が大きすぎるのでほとんど利益は出ないと考えていいと思います。（短期的には。）

でも、静岡市民が観光地を知ってくれば、友人、知人などを誘って観光地巡りをしてくれたり、

スタンプラリーなどで多くの家族連れが参加して静岡がいいなと思ってくれば、県外流出の人数は減少するのではないかと考えています。

また、たくさんの市民が県外の人に向けて「静岡市がいい所だよ」を薦めてくれば、外国人や県外からやってくる人も増えるのではないかと思っています。

ですので、このプロジェクトは短期的で爆発的な利益を上げるようなものではなく、長期的に続けていくことで利益を少しずつ増やしていくのです。

この事業の問題点。そして、僕たちが感じたこと。

この事業の問題点は他の発表グループより

多々あり、数えきれないほどあります。

今から挙げる問題点はその一部です。

また、プロジェクトを遂行しているうちに出

てくる問題も大量にあると考えています。

代表的な問題点を三つ挙げると・・・。

静岡市プチ観光大使

駿河湾フェリー往復

静岡鉄道ワンデーパス

などが挙げられるが具体的に決まっていない。

このように、まだまだ問題は山積しています。

また、この事業においては
静岡市の公共交通機関の各社と協力をしなければなりません。
現在、人口減少、観光客減少に歯止めがかからない中で少しでも静岡市に住んでくれる人たち
ちを増やす。

それってとても良いことなのではないでしょうか？
静岡市を全国でもっと知ってもらいたい、知名度を上げたい、
そのためには、まずは地元の人が地元の観光地を熟知してないといけないのです。
幸いにも、静岡市は東海道本線も走る交通の重要な要所の一つであり、観光客船が泊れる数
少ない港もあるのだから、人を増やすのには十分な材料が揃っている。
ならば、イベントやツアーなどで人を呼んで、静岡市をもっと知ってもらえれば、
もっと人がやってくる。たくさんの方が住んでくれれば、それによって観光客の減少と人口
が減少する問題は少なくとも最小限に抑えられるのではないのですか？

人口減少の問題だけで考えれば
例えば、大企業を誘致するなど短期的な人口増加策ならいくらでも有るのかもしれない。
だけど、この地に長く住んでもらわないと抜本的な解決にはならないと思う。
観光客の問題も同じ。客が1回だけ来るのとリピートして何回も来てくれるのはどちらが
良いか？もちろんリピートしてくれた方がいいですよ？

目先の利益をただ上げるだけの企業ならこの事業をやってほしくない。
静岡市を盛り上げて、静岡市に今までの活気と、
新たな活気を取り込むことに協力してくれる
そんな企業にこの事業をやってほしいと
僕たちは切に願っています。

例えば
こんな会社に
やってもらいたいです



長くなりましたが
ご清聴、ありがとうございました！！

